

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市高津スポーツセンター	評価対象年度	平成29年度
事業者名	SELF高津スポーツセンター事業体 ・代表者名:特定非営利活動法人 高津総合型スポーツクラブSELF 理事長 平口 和宏 川崎市高津区二子5丁目14番31号 ・構成員:株式会社 カワサキスポーツサービス	評価者	地域振興課長
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	所管課	高津区役所地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
		23,778	28,428	26,175	29,996	24,894	27,147	31,960	27,784	24,911	25,124	26,216	30,278	326,691
収支実績 (単位:円)	指定管理料		46,613,742											
	収 入	利用料金収入		31,059,010										支 出
		駐車場収入		7,518,600										
		事業収入他		40,538,000										
		合計		125,729,352										
								計		122,380,526				
										収支差額		3,348,826		
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・更衣室の設備の更新など、清潔で快適な利用環境を維持し、利用者サービス向上の取り組みを行っている。 ・空調機のない大体育室の夏季における熱中症対策として、冷風機2台の導入を引き続き行った。 ・個人開放事業として、車椅子専用卓球台を導入し、誰もが利用しやすい施設環境づくりに取り組んでいる。また、トレーニング室において、パーソナルプログラムを拡充し、個人相談の充実を図った。 ・教室申し込みで、インターネット申込制を導入により、8割以上がインターネットからの申し込みとなり、好評である。 ・障害者スポーツ体験を実施するなど、市の政策課題へも積極的に取り組んでいる。 													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	利用者満足度	利用者満足度調査を適切に実施しているか	6	4	4.8
		利用者満足度は向上しているか			
		調査結果の分析を行い、満足度向上のための具体的な取組に反映しているか			
	事業成果	事業実施による成果の測定が適切に行われているか	6	3	3.6
当初の事業目的を達成することができたか					
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者満足度 計画どおりに個人利用、団体利用別に年2回の利用者満足度調査を適切に実施していた。また、教室ごとにアンケートを年2回実施し、9割以上が満足しているとの結果となっており、高いリピート率を維持している。その際の意見や要望についても可能な限り迅速かつ適切に対応を行っていた。 ・事業成果 地域のスポーツ振興を担う施設として、スポーツ教室において、幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした教室を展開している。さらに、地域に密着したイベントを幅広く展開する等、公の施設の管理者としての事業目的を果たしている。 			
収支計画・実績	効率的・効果的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	6	4	4.8
		支出に見合う効果は得られているか			
		効率的な執行等、経費削減の具体的な取組は為されたか			
	収入の確保	計画通りの収入が得られているか	6	3	3.6
		収入増加のための具体的な取組が為されているか			
	適切な金銭管理・会計手続	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	4	3	2.4
事業収支に関して適正な会計処理が為されているか					
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的・効果的な支出 光熱費についてはトイレ等の人感センサーの導入やデマンド装置による監視など節電対策やトイレの自動流水制御装置による節水等の徹底に取り組み、効率的・効果的な支出を行っていた。 ・収入の確保 概ね、予算計画どおりの適正な収入確保の取り組みを行っていた。 ・適切な金銭管理・会計手続 年間を通して、適切な金銭管理を行っていた。 			

サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供(施設の利用提供)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(トレーニング室を含む個人開放事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(教室事業)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	適切なサービスの提供(地域との連携、提案事業等)	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	6	4	4.8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	実施計画と実際のサービス提供に「ずれ」が生じている場合、原因究明に必要な取組が為されているか	8	3	4.8
		業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか			
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
利用者の意見・要望への対応	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか	8	4	6.4	
	意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用提供 <p>夏場の熱中症対策として、大体育室への冷風機の導入継続や施設の改修など快適な利用に向けた環境づくりに取り組んでいた。</p> <p>また、広報事業として、新たに区役所ホールで体組成計体験、定期教室募集、館のDVD放映など積極的に利用促進の取り組みを行い、新規利用者の開拓につなげた。</p> ・個人開放事業 <p>スポーツデーについて、利用順番決めを抽選で行うなど、多くの利用者が平等に利用できるよう留意するとともに、障害者や初心者には優先エリアを設けるなど利用者の満足度を上げる取り組みや、年間を通じトラブルなく適正な事業運営を行っていた。また、トレーニング室について、回転率を上げる工夫やパーソナルトレーニングメニューを充実させるなど、きめ細かく利用者ニーズに応える取り組みを行っていた。</p> ・教室事業 <p>幼児、親子から高齢者まで多様な目的に合わせた教室を、H28年度より13教室多い年間66種目(定期教室40種目、当日受付の教室15種目、短期教室11種目)開催し、利用者ニーズに対応した取り組みで好評価を得ていた。前年度から始めたインターネット申込制導入については、8割以上がインターネットからの申込となっており、大変好評である。</p> ・地域との連携・提案事業等 <p>地域との連携した取組として、近隣の福祉作業所のパン販売や手芸品販売など障害者支援の取組が行われていた。</p> <p>提案事業としては、屋上のゲートボール場の有効活用策として、ヨガ体験イベントの実施、さらに、7月に高津区民祭と連携した「タカスポ祭り」で地域団体の発表ステージなどの開催、2月に教室発表、フリーマーケット、障害者スポーツ体験を行った「たかすぽフェス」を実施するなど、地域に根ざした事業展開を図っていた。</p> ・業務改善によるサービス向上 <p>適宜、担当部門ごとに事業の実施状況の確認を行うなど改善に向けた取り組みを行っていた。</p> ・利用者の意見・要望への対応 <p>スポーツ教室種目ごとのアンケートの実施、館長へのひと言BOX設置により、的確に利用者ニーズの把握に努め、夜間のバドミントン教室など要望の多い教室の充実、更衣室の清掃チェックリストの活用など、利用者からの要望等に対して、迅速かつ適切な対応を行っていた。</p> 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	8	3	4.8
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか			
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	8	3	4.8
		緊急時に警察や消防など関係機関と速やかに連携が図れるよう、連絡体制を構築し、定期的に情報交換等を行っているか			
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	4	4	3.2
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか			
環境負荷の軽減	環境に配慮した調達や業務実施が行われているか				
(評価の理由)					
<ul style="list-style-type: none"> ・適切な人員配置、連絡・連携体制、再委託管理、担当者のスキルアップ <p>年間を通して、計画どおりに適正な執行を行っていた。</p> ・安全・安心への取組 <p>緊急に対応できる体制と仕組みの整備を徹底するなど安全管理体制を整え、また、計画どおりに訓練を実施し、大きな事故、怪我等なく、適切な対応を行っていた。</p> ・コンプライアンス、職員の労働条件・労働環境、環境負荷の軽減 <p>年間を通して、コンプライアンスの遵守、適切な労働環境の整備がされていた。情報セキュリティ研修の実施や、個人情報の管理を徹底するとともにハンドブックの配布を行うなど職員の意識向上に積極的に取り組んでいた。また、時給職員についても、就労規定等を適正かつ明確に提示していた。</p> <p>環境負荷軽減の取組として、全館LED化による省電力化に引き続き努めていた。さらに、クリーンDAYを設定し、自主的に近隣清掃に取り組む地域との良好な関係維持に努めるなど、周辺地域の環境にも配慮した取組がなされていた。</p> 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	6	4	4.8
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。			
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか	6	4	4.8
	外構・植栽管理	外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>・施設・設備の保守管理、管理記録の整備・保管、清掃業務 適切に各種保守点検業務、清掃業務を行っていたことに加え、更衣室、トイレ等館内各所の清掃チェックリストを作成し、定期的に職員が点検を行うことで、清潔な利用環境を維持する取り組みがなされていた。</p> <p>・外構・植栽管理、備品管理 警備業務については、職員による1日3回の巡回など紛失や盗難など未然に防ぐ取り組みを、適切に業務を行っていた。</p> <p>外構・植栽管理については、年2回の専門家による剪定、害虫駆除作業に加え、職員による毎日点検、清掃を行うことで、常に良好な状態が維持され、利用者、近隣住民からも高い評価を受けている。</p>					

4. その他加点

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	かわさきパラムーブメントに関する取り組みを行っているか	1	5	1.0
	<p>(評価の理由)</p> <p>体育の日記念事業での車いす卓球体験、たかすぼフェスでの義足体験など、障害の有無に関係なく誰もが楽しみながら体験できる障害者スポーツ体験会を実施し、市の政策であるかわさきパラムーブメントの推進に取り組んでいた。</p>				

5. 総合評価

評価点合計	73	評価ランク	B
-------	----	-------	---

6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>高津スポーツセンターは、平成9年度に開館し、その後、平成18年度から指定管理者制度を導入し、平成29年度は第3期指定管理期間の2年目となる。</p> <p>当該指定管理者は、これまでの2期10年間、管理運営を行ってきたノウハウを生かして、施設・設備の老朽化等に対応するため、これまでに、更衣室など各種設備の更新や大体育室への冷風機の導入、全館LED照明化に取り組んだ。さらに、利用者ニーズの把握も的確に行い、夜間スポーツ教室の充実、障害者施設との連携、地域に根ざしたイベントの開催など、利用者へのサービス向上に多角的に取り組んでいる。</p> <p>また、指定管理者自身が地域総合型スポーツクラブの特性を生かし、高津区民祭への協力、たかすぼフェスを開催するなど、地域団体等と連携した取り組みを積極的に展開しており、地域から愛着の持たれる生涯スポーツの拠点づくりに取り組んでいることは評価できる。</p>
--

7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> 今後も幼児から高齢者までの多様なニーズを的確に把握した事業を展開するとともに、利用者満足度調査、セルフモニタリングを計画的に行い、業務改善等に努めること。 団体利用について、引き続き、稼働率の低い研修室、屋上ゲートボール場の有効活用、利用率向上の取り組みを検討すること。 個人利用について、引き続き、公平、平等な利用方法に留意しつつ、教室充足率を向上させるため、新規利用者の開拓に努めること。 収支について、正確かつ迅速な会計処理に努めるとともに、予算計画に留意した収入確保の取り組みに努めること。
--